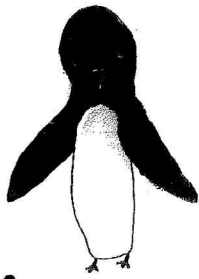


# ももたよい



平成 25 年 7 月 中沢幼稚園 PTA

園長先生より

先日の夏まつりにはご家族で楽しめましたでしょうか。それぞれの年齢・発達ならではの姿が見られましたね。

子どもは悪戯好き？もちろん！でも、これこそが探求心のあらわれです

水遊びが面白くて、水があるところ、どこでも突進していく姿。眺め、嗅ぎ、触り、音を確認めずにはられません。1～3歳の頃です。

蛇口から出る水、川で流れる水、空から降ってくる水、雨上がりに溜まっている水等々。どのくらい思い浮かびますか？様々に変化してやまない、この不思議なものがどうやら大人の言う“みず”というものであるらしい、とおぼろげながらわかってきます。

何度でも繰り返し遊びたいもの、これは子ども自身の中にある発達課題—今まさに育ちつつあるもの、育っていかうとしているものの現れなのです。子どもは探求心のかたまりですが、家の中では中々存分に、とはいきません。それが出来るのは幼稚園ならではのな組は泥んこ遊び、雨の中散歩、ボディペインティングを存分に楽しませます。存分にやりきると、つまり飽くほどやってしまうと次の段階を自然に求めるようになります。

子どもは子どもが大好き、子ども同士の育ち合い

赤ちゃんがお母さんに連れられて幼稚園に入ると、子ども達が集まってきます。自分たちだって十分に幼いのに、小さな生命が愛おしくてたまりません。「可愛いね～、お腹すいてるの？」声をかけたり、触ったり「抱っこしたい!!!」とせがんだり。赤ちゃんの方もご満悦。あー、うー、と声をあげます。子ども達に囲まれて不機嫌になる赤ちゃんに出会ったことはほとんどありません。

幼稚園入園前にトイレなど生活習慣を心配されるお母さんもよくありますが、年上のお兄ちゃんやお姉ちゃん達がしている様子を見様見真似でやるようになります。

園ではことり組の姿がとても大切なお手本になります。身近な憧れの的であることり組、先日の夏まつり、誇らしげに和太鼓を打ったり、おみこしを自分たちだけで担いだり、の姿にどうぶつ組はやっぱり、「かっけいい!!!!」と胸を熱くしたのです。

もうすぐ夏休み。どうぞそれぞれの‘夏‘をお過ごしください。夏休み明けにはまたたくましくなった子ども達に会えることを教職員一同楽しみにしております。

